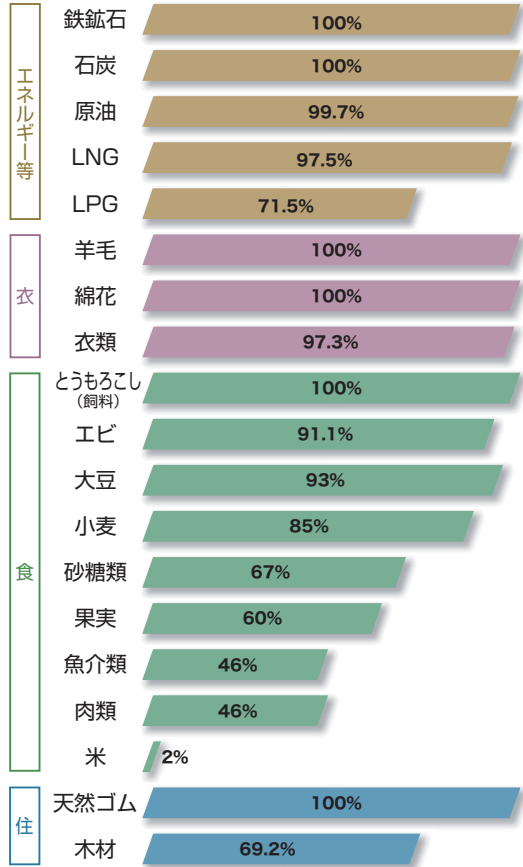


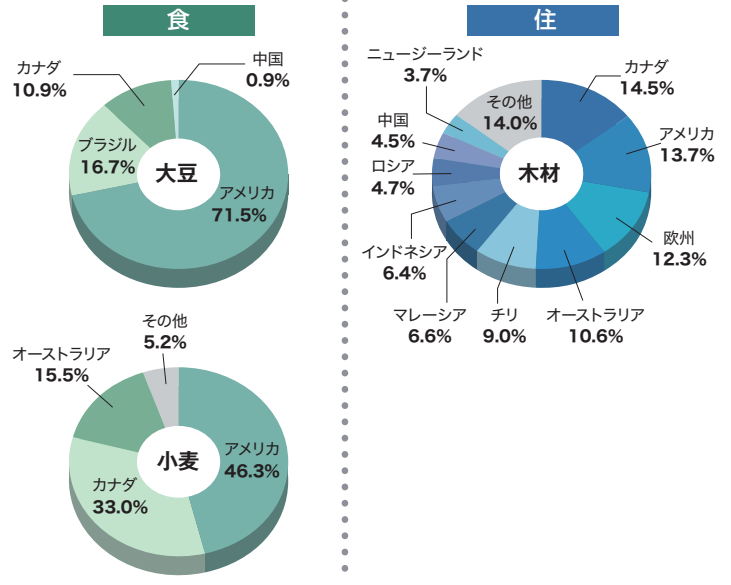
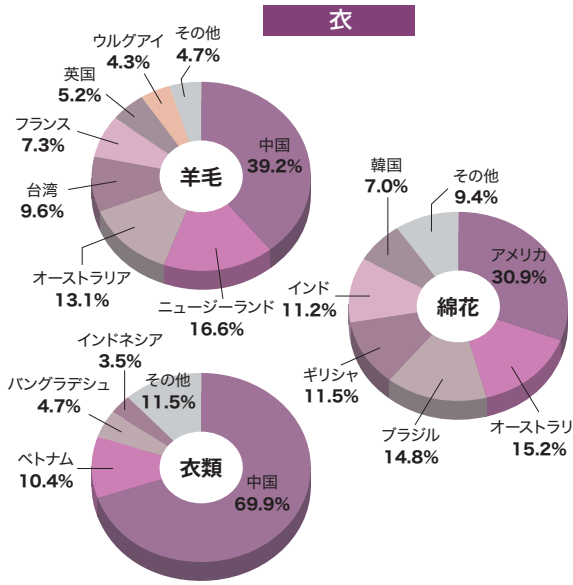
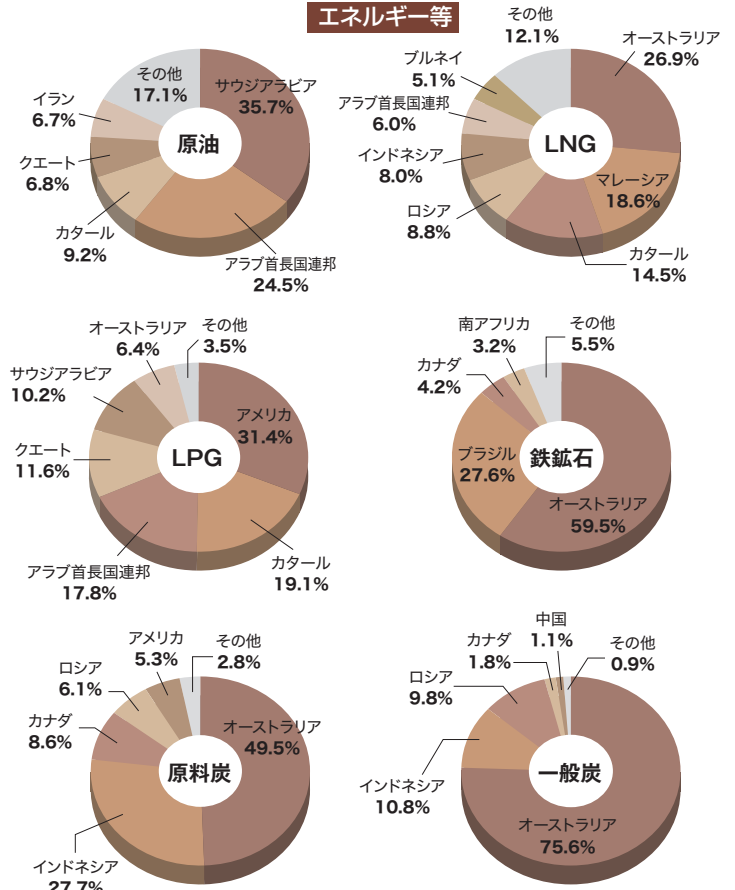
1 主な資源の対外依存度

わが国は衣食住の面で欠くことのできない多くの資源を輸入に頼っている。エネルギー資源である原油は中東諸国から(8割以上)、石炭はオーストラリアから(約8割)、LNGはオーストラリア、マレーシア、カタールからの輸入が多い。工業原料である鉄鉱石、原料炭はオーストラリアからの輸入が多い。

主な物資の対外依存度



主な物資の輸入先



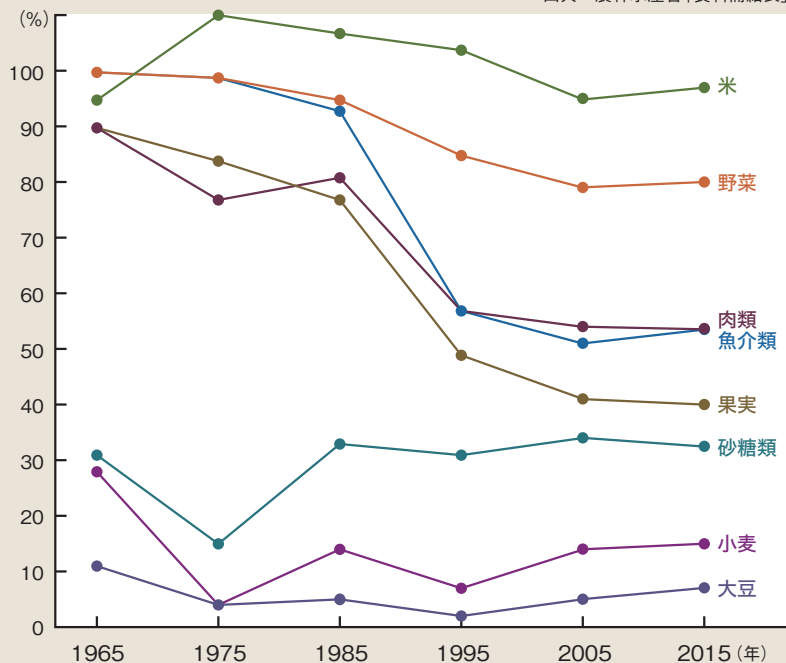
出典：平成27年度「食料需給表」、平成27年「木材需給表」、「エネルギー白書2017」、「鉄鋼統計要覧」2016年版、帝国書院HP統計資料、「日本のアパレル市場と輸入品概況2017」(以上、対外依存度) 財務省貿易統計、「森林・林業白書」平成28年版(以上、輸入先)

(注) ①大豆・小麦・とうもろこし(飼料)・砂糖類・果実・魚介類・肉類・米・木材については2015年度の数値(概算)。②原油・LNG・LPG・石炭・鉄鉱石は2015年度、羊毛・綿花・エビ・天然ゴムは2014年の数値。③衣類は2016年の輸入浸透率。④輸入先について、木材は2015年のデータ。他は2016年のデータ。

2 食料自給率の推移

米を始めとする主食用穀物を除き、食料自給率は1960年代より減少傾向にある。

出典：農林水産省「食料需給表」



(単位：%)

年度	1965	1975	1985	1995	2005	2015
米	95	110	107	104	95	98
小麦	28	4	14	7	14	15
大豆	11	4	5	2	5	7
野菜	100	99	95	85	79	80
果実	90	84	77	49	41	40
肉類	90	77	81	57	54	54
魚介類	100	99	93	57	51	54
砂糖類	31	15	33	31	34	33

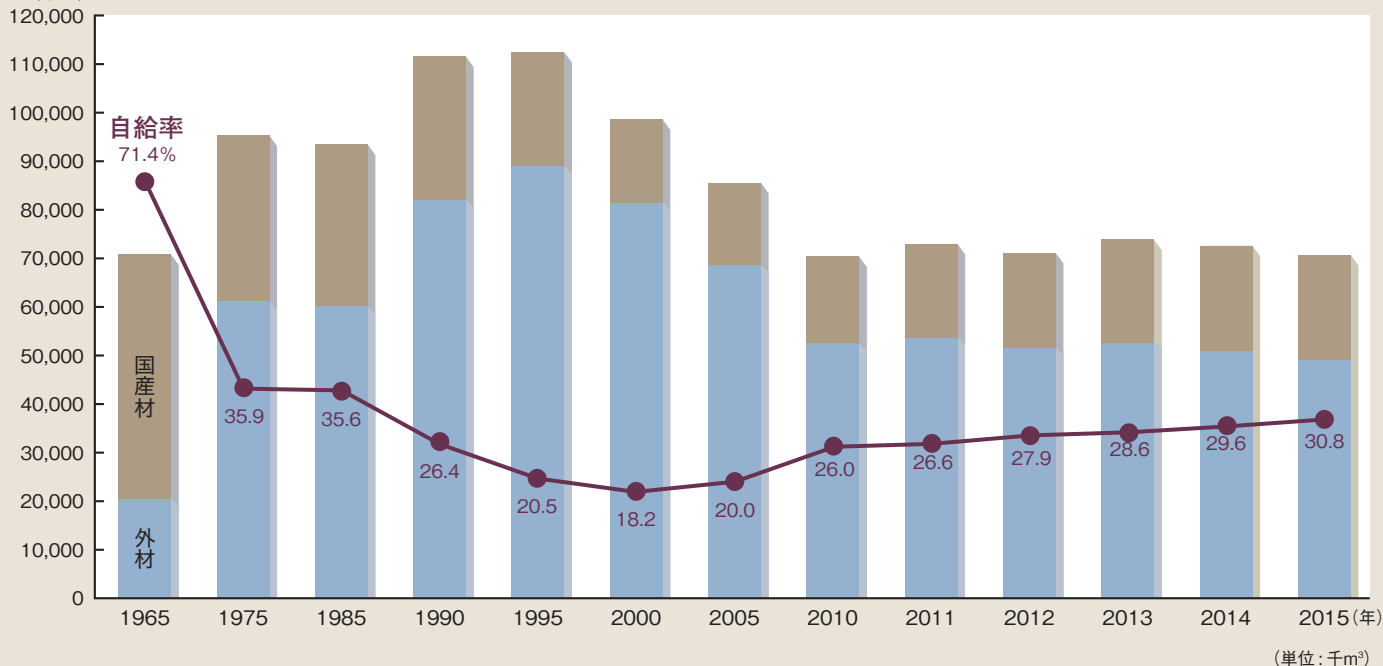
(注)2015年数値は概算値。

3 国産材・外材別の木材需要(供給)量(丸太換算)

木材自給率は、1965年には71.4%であったが、1975年までに大きく減少し、2000年には18.2%にまで落ち込んだ。2000年以降は緩やかに増加し、2015年には30.8%となった。

(千m³)

出典：林野庁「木材需給表」



(単位：千m³)

年	1965	1975	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015
合計	70,530	96,369	92,901	111,162	111,922	99,263	85,857	70,253	72,725	70,633	73,867	72,547	70,883
国産材	50,375	34,577	33,074	29,369	22,916	18,022	17,176	18,236	19,367	19,686	21,117	21,492	21,797
外材	20,155	61,792	59,827	81,793	89,006	81,241	68,681	52,018	53,358	50,947	52,750	51,054	49,086
自給率(%)	71.4	35.9	35.6	26.4	20.5	18.2	20.0	26.0	26.6	27.9	28.6	29.6	30.8

(注) 端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。